

田中義廉 田中義廉 洋學者。天保十三年一月十一日信濃國飯田生れ、明治十一年十月二十九日(一八八一年七月九日)歿。幼名大助。號大口碎石、源義廉。博物學者田中芳男の弟。伊藤美介の蘭學、醫學を學ぶ。文政六年江戸の舟木林河海の入門として蘭學を極む、更に海軍士學、蒸氣機關を研究英語、フランス人語を修めて歸郷。維新の際彰義隊に加はる。明治二年海軍練兵所創設の願はり、翌年兵學寮大助教となる。五年文部省の轉じての教科書編纂に従事。翌年文部省を辭すと爾後教科書執筆。十一  
年教育社設立。

著書『小學讀本』(一)・那珂通高校正、明治十一年十月講談・古澤友作翻刻出版。(一)・那珂通高訂正、八年一月足柄縣・小西文三郎板。五年十一月十五日版權免許、田中義廉編輯並感版、甲府・内藤傳右衛門分版發行(一)、『日本史略』全五冊(明治九年九月一日版權免許、十年一月京、山梨・内藤傳右衛門出版、文會舎世發行)、『日本史略字引』(明治十年十一月山梨・内藤傳右衛門出版、同文活發賣)、『古事考義』(上原兼一執筆、明治十一年十一月六日教育社)、『萬國史略』全五冊(明治十二年四月二十日再刻編、内藤傳右衛門出版)等。  
村沢武夫著『近代日本を築いた、田中芳男と義廉』(昭和五十二年十一月二十一日出版)。

田中芳男義廉頭取

会(おがわ)。

